

## 岐阜県経済の現状のポイント（平成 25 年 9 月分）

### 【景況感】

景気は緩やかに回復しつつある。

### 【製造業】生産、売上げは、輸送機械関連を中心に改善

- 製造業全体では、円安により原材料価格の上昇が生じているものの、輸送機械関連を中心に受注や生産が増加しており収益が改善している。
- 生産用機械においては、円安により国内調達に切り替える企業が出ていることから国内取引が回復傾向にある。

### 【地場産業】依然として厳しい状況が続いている

- 木工等で明るい声が聞こえたが、依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

### 【消費】大型店を中心に持ち直しの動きがみられる

- 衣料品は残暑により秋物の売り上げが今ひとつであったが、食料品は引き続き順調であった。

### 【観光】インバウンドはアジアを中心に好調

- 3連休が2週にわたり続いたことから総じて前年をやや上回る水準を確保している模様。インバウンドは台湾やアセアンなどアジアで引き続き好調な動きが見られる。

### 【雇用】業務量の増加により雇用を増やす企業が出始めている

- 生産量の増加により業務量が増えたため雇用を増やす企業が出始めている。雇用にあたっては専門職や即戦力の人材を求めているが、採用に苦慮している企業が多い。

### 【設備投資】設備投資意欲は増加するものの実績は横ばい

- 設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加した。一方で設備投資意欲DIは、改善傾向。

### 【資金繰り】資金貸付実績及び借入意欲は依然として低い

- 企業の資金繰りは、改善傾向が一服しており、新規借入れ需要は依然少ない。